

起業体験プログラム

中等部3年、高等部1年、高等部2年(希望したクラス)の各クラスが1つの株式会社を設立し、事業を運営していくプログラムです。社長・マネージャー・会計・広報などの役割を決め、中等部3年と高等部1年はクラス全員が社員に、高等部2年は社長が社員を募ります。各クラスが「企業理念」を軸とし、その達成のために商品内容、販売戦略などを立案します。また、営業報告や会計作業でのバランスシートの作成も生徒主体で行います。

単なる「模擬店」とは異なり、中等部1、2年で培った発想力や思考法をもとに活動する、品川女子学院ならではのプログラムです。

Pick up④

9月

店舗装飾、当日運営、決算作業・監査報告
株主総会、利益配当、解散

7、8月

設立登記、協力企業との話し合い
当日運営の準備

Pick up③

6月

起業体験プレゼンテーション、事業計画書提出

5月

事業内容・商品の検討、企業との交渉
IRレポートの作成

Pick up②

4月

クラスで立ち上げる企業の社長や取締役決定
企業理念、企画書作成

Pick up①

中等部

身の回り、社会との関わり、世界を知る、企業コラボ、デザイン思考

Pick up① 起業体験の土台

起業体験プログラムは中等部の総合学習の延長上にあります。身の回り、社会との関わり、世界を知る、と自分の身近なところから周囲との接点を広げていき、その中で自分と社会との関わりを考えていきます。中等部1年から課題発見、課題解決、デザイン思考、プレゼンスキルなど、理論的な部分を身につけていき、中等部3年からの起業体験はその実践の場です。

Pick up② 企業理念

大切なことは「自分の興味・想い」に端を発していることです。自分の興味・社会的意義・品女の文化祭であるという意義、それらの交点を探します。強い気持ちで周囲を巻き込むこと。最初に試されるのはその気持ちの強さです。

Pick up③ 起業体験プレゼン

自分たちの想いを形にするために、必要な資金の出資を募ります。「白ばらファウンド」と呼ばれる審査員にプレゼンを行い、事前に提示された評価軸に従って出資額が決定されます。

Pick up④ 当日、株主総会

協力企業と形にした商品の販売、サービスの提供を行います。取締役をはじめ、社員一人一人の協力が不可欠です。1日目終了後も集計作業、営業報告を経て次の日に向けての戦略を練ります。2日間の文化祭後は決算作業を行い、株主総会の報告をもって企業解散です。自分たちも出資株主のため、リスクを負いますがそれ以上に大きなチャレンジ、経験を得ることができます。